

■平成23年度の主な事業と予算

(☆は新規事業、★は継続事業)

事業名	予算額	内容
生「やる気と活気」 やる気を応援し、活気あふれる都市空間と新しい地域経済をつくるまちづくり		
★ 経済振興対策事業	90万円	中小企業などが行う販路開拓・経営改善事業、中心市街地での賑わいの創出や認知度アップを図る事業を支援します。
☆ 新規卒業者就職支援事業	1,040万円	就職していない高校新卒者を雇用創出型のワークシェアリングにより雇用し、次の就職に向けての支援をします。
☆ 農商工連携推進事業	80万円	地域の農商工連携などを促進し、食の高付加価値化や販路拡大、新サービス創出を図るため、情報交換を進めます。
☆ るもい農水産品普及宣伝事業	200万円	留萌の一次産品や加工品をさまざまな媒体を生かしてPRすることで、ブランド化の推進や新たな販路開拓を図ります。
☆ 地場産品販路拡大推進事業	100万円	首都圏のアンテナショップに参加し、地場産品の販路拡大や首都圏への情報発信、観光客誘致などに繋がります。
優「思いやりと安心」 思いやりのコミュニティで安心して健康に暮らせるまちづくり		
☆ 子宮頸がん等ワクチン接種事業	3,139万円	子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンを接種し、子宮頸がんなどの発症を未然に防止します。
☆ 健康サービス創造事業	57万円	健康を軸とした新たなサービスや産業を創出できる環境を整えるため、行動プランの策定を進めます。
☆ 医療人材交流拠点形成事業	55万円	留萌を医療系人材の研修拠点として、学生の研究誘致などの交流人口拡大と将来的な人材確保に向けて取り組みます。
★ 二次救急医療体制支援事業補助金	3,467万円	市立病院の二次救急医療体制を確保するため、管内市町村と連携・協力し、救急搬送実績に応じて支援します。
★ 小児救急医療支援事業補助金	732万円	道の補助金を活用して、市立病院の小児救急医療において、医師が速やかに駆けつける体制を支援します。
地「自然と資源」 自然の恵みを活かし資源を大切にすまちづくり		
☆ 防災ダム管理事業	129万円	道から移管される農地防災ダムを適正に管理し、農業者が安心して農業に従事できるように環境を整備します。
☆ 漁業体験モデル事業	67万円	主に小中学生を対象に水産業に関わる作業体験を行い、留萌の海や水産業に対する興味や関心を深めてもらいます。
☆ 漁業振興対策事業補助金	45万円	市内の沿岸漁業の効率化と外来漁船の誘致と確保を図ることを目的とした、陸電施設を整備するための支援をします。
守「暮らしと安全」 機能的な生活基盤で安全で清潔な暮らしを守るまちづくり		
★ 公営住宅ストック総合改善事業	9,425万円	老朽化した沖見町・春日町団地の住戸改善や、あかしあ団地の外部改修工事などを行います。
★ 一般廃棄物処理施設整備事業	6,725万円	留萌南部衛生組合で平成25年の供用開始に向けて、「生ごみ中間処理施設用地造成」「最終処分場建設」を進めます。
宝「夢と宝」 人・文化・地域の魅力と夢を育てるまちづくり		
★ ファミリーサポートセンター委託料	166万円	ファミリーサポート事業の拠点を設け、一時保育機能の充実と利用者の拡大を図ります。
☆ 少年体験学習事業	5万円	留萌の自然などを体験的に学んで郷土愛を育み、集団活動で友情の輪を広げ、心身ともに健全な子どもを育成します。
☆ 子どもの伝統文化体験教室事業委託料	50万円	日本古来の伝統文化を楽しく体験しながら、礼節を学び豊かな心を育むことで、健全な子どもを育成します。
☆ 子どもの体力アップ推進事業委託料	148万円	子どもの発達段階に応じた体力向上のためのプログラムを実施し、運動やスポーツへの興味関心を高めます。
☆ 観光物産PR推進事業	119万円	交流人口の拡大と地場産品の販路拡大を図るため、市内及び道内都市圏で開催される催事などでPR活動を行います。
海「海と港」 海と港、留萌らしさを未来へ繋げるまちづくり		
☆ 船場公園交流促進事業	82万円	同公園の芝生広場を有効利用するため、サッカーゴールを購入し、市民の皆さんや近隣市町村との交流を促進します。
☆ 公園施設長寿命化計画策定事業	600万円	今後増大する老朽化公園施設を改築・更新していくため、長寿命化計画を策定します。
信「対話と信頼」 市民との対話による働く市役所づくり		
☆ 地域おこし協力隊事業	1,394万円	都市部の人材を隊員として委嘱し、農業や漁業、廃校などの地域資源を活用して地域力の維持・強化を目指します。
★ 留萌市応援寄附事業	281万円	「ふるさと留萌」の応援団を広く募るため、同制度をPRするほか、寄附金を事業に充てるために基金へ積み立てます。

市政執行方針及び主要施策に関するお問い合わせは、市・企画調整課まで ☎42・1809

平成23年度

ことしの仕事 ことしの予算

3月の市議会定例会で、高橋定敏市長が市政執行方針を説明し、その実現に必要な仕事と予算が決まりました。市は4月から、この予算に基づき様々な仕事に取り組みます。平成23年度の仕事と予算についてお伝えします。

平成23年度 市政運営における重点的な取り組みについて

留萌市では、「市民が主役のまちづくり」を掲げ、市政懇談会などを通して、多くの市民の皆さんとの対話を重ねながら、市が直面するさまざまな課題に取り組んでいます。今年度は、財政健全化計画、市立病院改革プランの進捗状況に配慮しながら、市民の皆さんとあらゆる分野において「新・協働時代」をテーマに「留萌力」を育て、未来に向けて子どもたちの笑顔、絆、夢を実現させる留萌を目指して次の4つの重点的な取り組みを進めます。

今年度に進める4つの重点的な取り組みである「経済の活性化」「健康で笑顔あふれるまちづくり」「夢と可能性が育つまちづくり」「安心安全なまちづくり」について、具体的な内容を紹介します。

経済の活性化

今年度も、地域資源を活用した販路開拓、異業種連携や転換、地域資源を活用した新商品PR、まちの元気と交流人口の増加、また、起業し空き店舗が活用されるなど、まちなかからの意欲的な活動に期待しており、「経済振興対策事業」として「地域の力」と「可能性」の発揮を支援します。

雇用対策については、新たに「新規卒業者就職支援事業」に取り組み、未就職高校新卒者の支援に努めます。地場産品の販路拡大については、「うまいよ！るもい市」への支援を継続し、「留萌の食」を全道各地に広く発信するとともに、留萌の水産物や加工品をさまざまな媒体や機会を活かしながら全国に発信します。

健康で笑顔あふれるまちづくり

保健事業については、すべての市民の皆さんが毎日明るく、楽しく、元気に暮らすことができるよう、「健康長寿のまちづくり」を目指します。

また、健康を軸にした新しいサービスや産業を創出できる環境を整えるため、北海道とも連携しながら、具体的な行動プランの策定を進めるとともに、将来的な医療人材確保に繋がる取り組みを進めます。

市立病院については、市民の皆さんに信頼されるセンター病院としての役割と機能を堅持し、病院経営の安定化に向けて市立病院改革プランを着実に実施するとともに、るもいコホートピア構想との連携や「東雲診療所」を中核として地域に必要な総合内科医の育成に努めていきます。

子どもたちの夢と可能性が育つまちづくり

子育て支援については、「るもい次世代育成支援行動計画」の後

期計画に基づき、子育て支援センターやファミリーサポートセンターなど子育て施策の一層の充実を図り、心豊かに子育てに取り組める環境づくりを地域の皆さんとともに積極的に進めていきます。

安全安心なまちづくり

地域防災については、災害時における地域での支え合いの要となる「自主防災組織」の結成と活動の促進を図り、町内会の方や関係団体との連携により、災害要援護者などに対する避難支援対策を具体的に進めていきます。

また、都市機能の充実を図るため、道路整備や橋梁の補修改善、老朽化した市営住宅の改良事業など社会基盤の整備を進め、次期道路整備5箇年計画、橋梁・公園施設の長寿命化計画を策定します。

今年度は、4つの重点的な取り組みの中でも、子どもたちの笑顔があふれ、子どもたちの夢と可能性が育つまちづくりとして「子ども夢物語」をテーマにさまざまな取り組みを進めていきます。

平成23年度各会計別予算

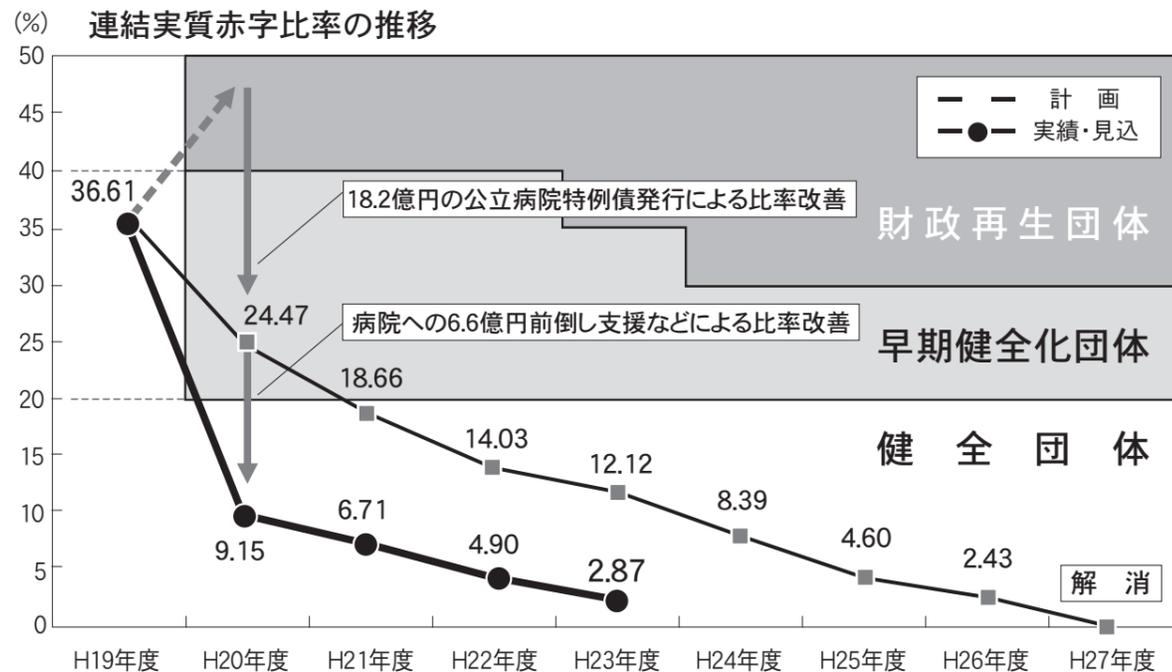
(単位：百万円)

会計区分	H23年度 予算額(A)	H22年度 予算額(B)	比較 (A)-(B)	増減率 (%)	収支の状況		市債(借金)残高		
					H23年度 予算額	H22年度 最終予算	H23年度末 見込額	H22年度末 見込額	
一般会計	13,145	13,018	127	1.0%	-	-	17,824	19,412	
特別会計	国民健康保険事業	3,111	2,974	137	4.6%	△485	△400	-	-
	後期高齢者医療事業	277	260	17	6.3%	-	-	-	-
	介護保険事業	1,749	1,661	88	5.3%	-	-	-	-
	港湾事業	203	192	11	5.7%	-	-	1,355	1,452
	下水道事業	1,486	1,628	△142	△8.7%	(0) △328	(0) △378	9,434	9,708
	老人保健事業	廃止	5	△5	皆減	-	-	-	-
企業会計	水道事業	1,037	1,071	△34	△3.1%	357	368	3,639	3,617
病院事業	6,651	6,251	400	6.4%	△109	△385	8,920	9,277	
合計	27,659	27,060	599	2.2%	△237	△416	41,171	43,465	

※各会計ごとに端数処理しているため、合計額が一致しない場合があります。
 ※収支の状況の△は、赤字であることを表しています。
 ※下水道事業の上段()内の数値は、解消可能資金不足額控除後の額です。
 ※病院事業会計の赤字額の減少は、一般会計からの不良債務解消支援220百万円と56百万円の経営改善(黒字)によるものです。

健全化判断比率

平成22年度決算見込みでは、病院事業会計において黒字化が見込めるまで改善していることで、連結実質赤字比率は順調に推移しており、平成23年度予算においては、さらに改善する見込みとなっています。
 また、実質公債費比率は、平成23年度予算において早期健全化基準である25% (23.7%見込み) に限りなく近づくため、昨年9月に公債費負担適正化計画を策定し、公債費(借金)の繰上償還を実施し、比率の上昇を抑制していきます。
 今後も財政健全化計画を着実に遂行し、1年でも早く健全化を達成できるよう、皆さんとともに努めていきます。

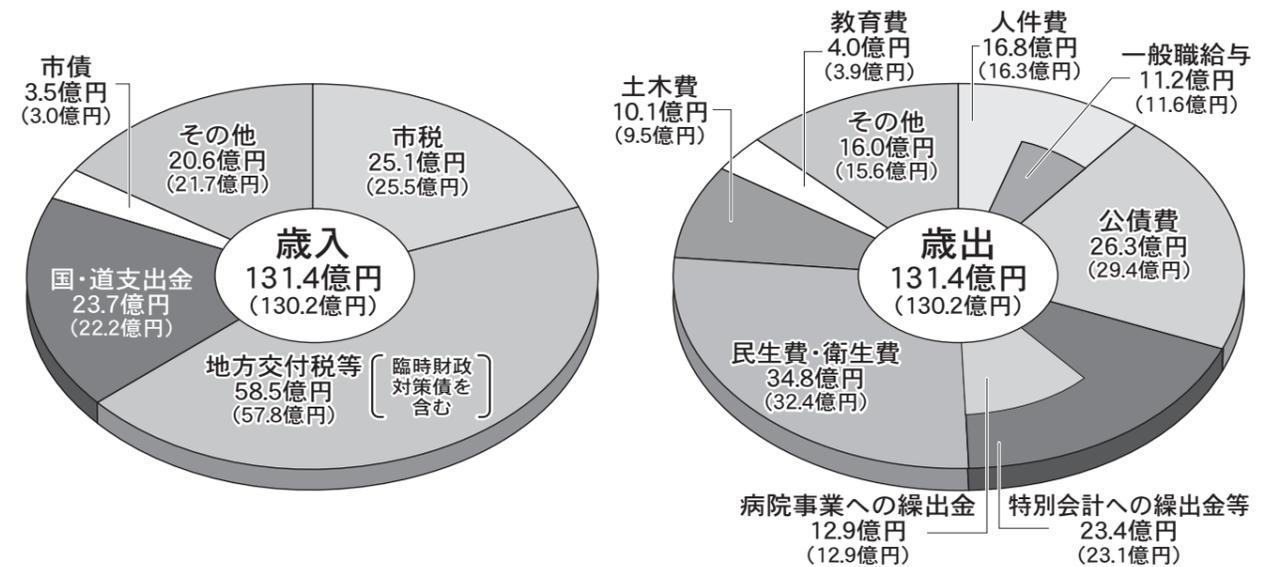


新年度予算に関するお問い合わせは、市・財務課まで ☎42・1813

平成23年度一般会計予算

※ () 内は平成22年度当初予算額

平成23年度当初予算は、財政健全化計画の着実な実行と、4つの重点的な取り組みに基づき、一般会計の総額は、131億4千万円(前年度比1億2千万円の増)となりました。



歳入の主な増減

【 】内は前年度比

- 市税【4千万円の減】
個人所得の減少により個人住民税が減少し、土地評価額の下落により固定資産税及び都市計画税が大幅に減少しています。
- 国・道支出金【1億5千万円の増】
子ども手当や生活保護費に係る負担金などで増加しています。
- 市債【5千万円の増】
投資事業の市債発行は限度額(3億円)内に抑えています。化学消防ポンプ自動車の更新(消防組合)により増加しています。
- その他【1億1千万円の減】
ごみ処理手数料や他会計からの人件費の負担金などで減少しています。

歳出の主な増減

【 】内は前年度比

- 人件費【5千万円の増】
退職者数が増加(9名から11名)したことで増加しています(一般職員数184名)。
- 公債費【3億1千万円の減】
繰上償還の実施効果などにより元利償還金が減少しています。
- 民生費・衛生費【2億4千万円の増】
子ども手当の支給額の拡大(5千万円)や子宮頸がん等ワクチン接種事業(3千万円)、生活保護費(1億1千万円)などで増加しています。
- 土木費【6千万円の増】
道路整備事業(3千万円)や除雪機械(車両)の更新(3千万円)などで増加しています。

市立病院への支援の内訳

(単位：千円)

項	目	H23年度	H22年度	比較	支援の内容
確地保域	救急・小児・産科医療の支援	190,856	217,585	△ 26,729	不採算部門である3科の医療体制を守るため、収支不足を支援します。
	看護師確保対策支援	25,000	25,000	0	地域医療を担う看護師確保のための財源として支援します。
	その他の支援	585,454	555,951	29,503	国の基準に基づく支援や病院建設に係る借金の利息などを支援します。
支医療	小計	801,310	798,536	2,774	
解不消等良への債支援務	特例債償還支援	267,507	267,507	0	公立病院特例債(18.2億円)の元利償還金全額を支援します。 ※平成23年度末で残10.7億円
	不良債務解消支援	220,000	220,000	0	不良債務(14.8億円)の解消のために支援します。 ※平成23年度末で残1.6億円
	小計	487,507	487,507	0	
合計		1,288,817	1,286,043	2,774	※収益分7.6億円、資本金5.3億円